

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2025.6.2-6.9

ut grow in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

2日 月曜

民数



32:16 彼らはモーセに近寄って言った。
「私たちはここに、家畜のために羊の囲い場を作り、子どもたちのために町々を建てます。
32:17 しかし私たちは、イスラエルの子らを彼らの場所に導き入れるまで、武装して先頭に立って急ぎ進みます。子どもたちは、この地の住民の前で城壁のある町々に住みます。
32:18 私たちは、イスラエルの子らがそれぞれその相続地を受け継ぐまで、自分の家に帰りません。
32:19 ヨルダン川の向こう側では、彼らとともに相続地を持ちません。私たちの相続地は、このヨルダンの川向こう、東の方になります。」
32:20 モーセは彼らに言った。「もしあなたがたがそのことを実行するなら、すなわち、もし【主】の前で戦いのために武装し、
32:21 あなたがたのうちの武装した者がみな【主】の前でヨルダン川を渡り、ついに主がその敵を御前から追い払い、
32:22 その地が【主】の前に征服され、その後であなたがたが帰って来るなら、あなたがたは【主】に対してもイスラエルに対しても責任を解かれる。そして、この地は【主】の前であなたがたの所有地となる。
32:23 しかし、もしそのように行わないなら、そのとき、あなたがたは【主】の前に罪ある者となり、自分たちの身に降りかかる罪の罰を思い知ることになる。
32:24 あなたがたは、自分の子どもたちのために町々を建て、自分の羊のために囲い場を作るがよい。自分の口から出たことを実行しなさい。」

32:25 ガド族とルベン族はモーセに答えた。
「しもべどもは、あなたが命じられるとおりにします。」

32:26 私たちの子どもたちや妻たち、家畜とすべての動物は、あそこ、ギルアデの町々にとどまります。

32:27 しかし、しもべども、戦のために武装した者はみな、あなたがおっしゃるとおり、渡って行って、【主】の前で戦います。」

モーセは彼らに、共に戦うことを条件に、許可を与えました。これは分裂を避けるための選択であって、彼らの要望を喜んでいたわけではありません。

この後、ルベン族とガド族は、他部族との一致が乱れる原因となったり、他国からの進入によりイスラエルの重荷となったりするのです。

自分たち、また家族などのことを考えて最善の選択をしたつもりが、実は神の共同体の力を削ぐような選択でありました。そのようなことは私たちもしてしまう可能性がありますから、注意しなくてはなりません。共同体の不利益は、結局自分たちの不利益となるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 火曜

民数



32:28 そこで、モーセは彼らについて、祭司エルアザル、ヌンの子ヨシュア、イスラエルの諸部族の一族のかしらたちに命令を下した。

32:29 モーセは彼らに言った。「もし、ガド族とルベン族の、戦いのために武装した者がみな、あなたがたとともにヨルダン川を渡り、【主】の前で戦い、その地があなたがたの前に征服されたなら、あなたがたはギルアデの地を所有地として彼らに与えなさい。

32:30 しかし、もし彼らが武装してあなたがたとともに渡って行かなければ、彼らはカナンの地であなたがたの間に所有地を得なければならない。」

32:31 ガド族とルベン族は答えた。「【主】があなたのしもべたちに語られたことを、私たちは実行いたします。

32:32 私たちは武装して【主】の前にカナンの地に渡って行き、私たちの相続の所有地を、このヨルダンの川向こうとします。」

32:33 そこでモーセは、ガド族と、ルベン族と、ヨセフの子マナセの半部族に、アモリ人の王シホンの王国とバシヤンの王オグの王国、すなわち町々がある地と、周辺の地の町々がある領土を与えた。

32:34 そこでガド族は、ディボン、アタロテ、アロエル、

32:35 アテロテ・ショファン、ヤゼル、ヨグボハ、

32:36 ベテ・ニムラ、ベテ・ハランを城壁のある町々として、または羊の囲い場として建て直した。

32:37 また、ルベン族は、ヘシュボン、エル

アレ、キルヤタイム、

32:38 および、後に名を改められたネボとバアル・メオン、またシブマを建て直した。彼らは、建て直した町々に新しい名をつけた。

32:39 マナセの子マキルの子らはギルアデに行つて、そこを攻め取り、そこにいたアモリ人を追い出した。

32:40 モーセがギルアデをマナセの子マキルに与えたので、彼はそこに住んだ。

32:41 マナセの子ヤイルは行つて、彼らの町々を攻め取り、それらをハボテ・ヤイルと名づけた。

32:42 ノバフは行つて、ケナテとそれに属する村々を攻め取り、自分の名にちなんで、それをノバフと名づけた。

モーセは現実的な選択をして、ルベン族とガド族の身勝手な願いを受け入れましたが、そのことを他の部族のかしらたちに周知徹底させました。それは後に争いにならないためであつて、必要な措置でした。

自分の意に沿わない方向に事態が進んでしまつても、その中で最善のことは行う、モーセの信仰が見て取れます。いやいやではなく、主の最善を信じて、自分にできるだけのことをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 水曜

民数



33:1 モーセとアロンの指導のもとに、その軍団ごとにエジプトの地から出て来たイスラエルの子らの旅程は次のとおりである。

33:2 モーセは【主】の命により、彼らの旅程の出発地点を書き記した。その旅程は、出発地点によると次のとおりである。

33:3 彼らは第一の月、その月の十五日に、ラメセスを旅立った。すなわち過越のいけにえの翌日、イスラエルの子らは、全エジプトが見ている前を隠することなく出て行った。

33:4 エジプトは、彼らの間で【主】が打たれたすべての長子を埋葬していた。【主】は彼らの神々にもさばきを下された。

33:5 イスラエルの子らはラメセスを旅立ってスコテに宿営し、

33:6 スコテを旅立って荒野の端にあるエタムに宿営した。

33:7 エタムを旅立ってバアル・ツェフォンの手前にあるピ・ハヒロテの方に向きを変え、ミグドルの前で宿営した。

33:8 ピ・ハヒロテを旅立って海の真ん中を通して荒野に向かい、エタムの荒野を三日路ほど行ってマラに宿営した。

33:9 マラを旅立ってエリムに行き、そこに宿営した。エリムには十二の泉と、七十本のなつめ椰子の木があった。

33:10 それから、彼らはエリムを旅立って葦の海のほとりに宿営し、

33:11 葦の海を旅立ってシンの荒野に宿営した。

33:12 シンの荒野を旅立ってドフカに宿営し、

33:13 ドフカを旅立ってアルシュに宿営し、

33:14 アルシュを旅立ってレフィディムに宿

営した。そこには民の飲む水がなかった。

33:15 それから、彼らはレフィディムを旅立ってシナイの荒野に宿営し、

33:16 シナイの荒野を旅立ってキブロテ・ハ・タアワに宿営した。

33:17 キブロテ・ハ・タアワを旅立ってハツェロテに宿営し、

33:18 ハツェロテを旅立ってリテマに宿営した。

33:19 リテマを旅立ってリンモン・ペレツに宿営し、

33:20 リンモン・ペレツを旅立ってリブナに宿営した。

33:21 リブナを旅立ってリサに宿営し、

33:22 リサを旅立ってケヘラタに宿営し、

33:23 ケヘラタを旅立ってシェフェル山に宿営した。

33:24 シェフェル山を旅立ってハラダに宿営し、

33:25 ハラダを旅立ってマクヘロテに宿営した。

33:26 マクヘロテを旅立ってタハテに宿営し、

33:27 タハテを旅立ってテラフに宿営し、

33:28 テラフを旅立ってミテカに宿営した。

33:29 ミテカを旅立ってハシュモナに宿営し、

33:30 ハシュモナを旅立ってモセロテに宿営した。

33:31 モセロテを旅立ってベネ・ヤアカンに宿営し、

33:32 ベネ・ヤアカンを旅立ってホル・ハ・ギデガデに宿営し、

33:33 ホル・ハ・ギデガデを旅立ってヨテバタに宿営し、

33:34 ヨテバタを旅立ってアブロナに宿営し、

33:35 アブロナを旅立ってエツヨン・ゲベル

に宿営した。

33:36 エツヨン・ゲベルを旅立ってツインの荒野、すなわちカデシュに宿営し、

33:37 カデシュを旅立ってエドムの国の端にあるホル山に宿営した。

出エジプトはイスラエルにとって、まさに救いの証です。またこれらの場所は彼らと神様との交わりの記憶であり、神様の聖なることと慈しみの記憶でもあります。

私たちも主と歩んだ人生を思い起こし、主の赦しと慈しみを追体験しましょう。そして感謝と決意をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 木曜

民数



33:38 祭司アロンは【主】の命によりホル山に登り、そこで死んだ。それは、イスラエルの子らがエジプトの地を出てから四十年目の第五の月の一日であった。

33:39 アロンはホル山で死んだとき、百二十三歳であった。

33:40 カナンの地のネゲブに住んでいたカナン人、アラドの王は、イスラエル人がやって来るのを聞いた。

33:41 それから、彼らはホル山を旅立ってツアルモナに宿営し、

33:42 ツアルモナを旅立ってブノンに宿営し、

33:43 ブノンを旅立ってオボテに宿営し、

33:44 オボテを旅立ってモアブの領土のイエ・ハ・アバリムに宿営した。

33:45 イムを旅立ってディボン・ガドに宿営し、

33:46 ディボン・ガドを旅立ってアルモン・ディブラタイムに宿営した。

33:47 アルモン・ディブラタイムを旅立って、

ネボの手前にあるアバリムの山々に宿営し、

33:48 アバリムの山々を旅立って、エリコをのぞむヨルダン川のほとりのモアブの草原に宿営した。

33:49 すなわち、ヨルダン川のほとり、ベテ・ハ・エシモテからアベル・ハ・シティムに至るまでのモアブの草原に、彼らは宿営した。

33:50 エリコをのぞむヨルダン川のほとりのモアブの草原で、【主】はモーセに告げられた。

33:51 「イスラエルの子らに告げよ。あなたがたがヨルダン川を渡ってカナンの地に入る

ときには、

33:52 その地の住民をことごとくあなたがたの前から追い払って、彼らの石像をすべて粉碎し、彼らの銅像をすべて粉碎し、彼らの高き所をすべて打ち壊さなければならぬ。

33:53 あなたがたはその地を自分の所有とし、そこに住め。あなたがたが所有するように、わたしがそれを与えたからである。

33:54 あなたがたは、氏族ごとに、くじを引いて、その地を相続地とせよ。大きい部族には、その相続地を大きくし、小さい部族には、その相続地を小さくしなければならない。くじで当たったその場所が、その部族のものとなる。あなたがたは、自分の父祖の部族ごとに相続地を受けなければならない。

33:55 もしその地の住民をあなたがたの前から追い払わなければ、あなたがたが残しておく者たちは、あなたがたの目のとげとなり、脇腹の茨となり、彼らはあなたがたが住むその土地であなたがたを苦しめる。

33:56 そしてわたしは、彼らに対してしようと計画したとおりを、あなたがたに対してすることになる。」

アロンは約束の地を見ずに死にました。無念の最後のように思えなくもありませんが、聖徒の死は主の前に尊いという聖句があります。アロンはもっとすぐれた天の、本当の約束の地を相続するという希望があるのです。それは私立ちも同じです。無念の死ということはクリスチャンにはないのです。

イスラエルがカナンの地に入ってから、「その地の住民をことごとくあなたがたの前から追い払って…」という命令でした。そうしなければ、

イスラエルは信仰的な悪影響を受けて、神様からの祝福を失うからです。

私たちも、誘惑になるようなものから身を遠ざけなければなりません。自分は誘惑に強いと思うのは、大きな勘違いであり、サタンの知らないことであり、霊的な無知なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 金曜

民数



34:1 【主】はモーセに告げられた。
34:2 「イスラエルの子らに命じて彼らに言え。あなたがたがカナンの地に入るときには、あなたがたへのゆずりとなる地、カナンの地とその境界は次のとおりである。
34:3 あなたがたの南側は、エドムに接するツインの荒野に始まる。南の境界線は、東の方の塩の海の端に始まる。
34:4 その境界線は、アクラビムの坂の南から回ってツインの方に進み、その終わりはカデシュ・バルネアの南である。またハツアル・アダルを出て、アツモンへと進む。
34:5 さらに境界線は、アツモンから回ってエジプト川に向かい、その終わりは海である。
34:6 あなたがたの西の境界線は、大海とその沿岸である。これをあなたがたの西の境界線としなければならない。
34:7 あなたがたの北の境界線は、次のとおりにしなければならない。大海からホル山まで線を引き、
34:8 さらにホル山からレボ・ハマテまで線を引く。その境界線の終わりはツェダデである。
34:9 そして境界線はジフロンの延び、その終わりはハツアル・エナンである。これがあなたがたの北の境界線である。
34:10 あなたがたの東の境界線としては、ハツアル・エナンからシェファムまで線を引け。
34:11 その境界線は、シェファムからアインの東方のリブラに下り、それから境界線は、そこから下ってキネレテの海の東の傾斜地に達する。
34:12 さらに境界線はヨルダン川を下り、その終わりは塩の海である。以上が境界線に

よって周囲を区切られた、あなたがたの地である。」

34:13 モーセはイスラエルの子らに命じて言った。「これが、あなたがたがくじを引いて相続地とする地である。【主】がこれを与えよと命じられたのは、九部族と半部族に対してである。

34:14 ルベン部族は一族ごとに、ガド部族も一族ごとに、そしてマナセの半部族も、自分たちの相続地を受け取っているからである。

34:15 この二部族と半部族は、ヨルダン川の、エリコをのぞむ対岸、東の方、日の出る方に、自分たちの相続地を受け取っている。」

境界線とは主が定められたものです。それは争いが無いのですが、人によっては自分が得をしているか損をしているかというように、人と比べて考える者もあります。しかし、このカナンの土地のように、もともとは主の恵が与えられたのであって、土地が与えられたというのは恵以外の何もでもないのです。

私たちが人との利害のせめぎあいのようにして、自分を守ったり、より多くを求めたりすることをしないようにしましょう。もともと自分のものではなく、主のもので、主が与えてくださったのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 土曜

民数

34:16 【主】はモーセに告げられた。

34:17 「あなたがたにその地を相続地として受け継がせる者たちの名は、次のとおりである。すなわち、祭司エルアザルとヌンの子ヨシュア。

34:18 あなたがたは、その地を受け継ぐため、それぞれの部族から族長一人ずつを選ばなければならない。

34:19 その人たちの名は次のとおりである。ユダ部族からは、エフンネの子カレブ。

34:20 シメオン部族からは、アミフデの子サムエル。

34:21 ベニヤミン部族からは、キスロンの子エリダデ。

34:22 ダン部族からは、族長として、ヨグリの子ブキ。

34:23 ヨセフの子孫からは、マナセ部族から、族長として、エフォデの子ハニエル、

34:24 またエフライム部族から、族長として、シフトンの子ケムエル。

34:25 ゼブルン部族からは、族長として、パルナクの子エリツァファン。

34:26 イッサカル部族からは、族長として、アザンの子パルティエル。

34:27 アシエル部族からは、族長として、シェロミの子アヒフデ。

34:28 ナフタリ部族からは、族長として、アミフデの子ベダフエル。

34:29 これが、カナンのでイスラエルの子らへの相続地を受け継がせるようにと、

【主】が命じた人たちである。」

主の共同体には秩序があります。ですから主は指導者を立てて、全体が一致しやすいようになさいま



す。その指導者を通して主が働かれるのです。教会でも指導者を尊重する必要があります。

指導者は1人ではありません。それぞれの部族に指導者が立てられたように、教会でもそれぞれのグループや働きのために指導者が立てられています。

指導者は信仰によらなければなりません。かつて不信仰のゆえにカナンの地を手に入れることを拒んだ人々はこの指導者の中にはいません。主の御計画と共同体の一致に沿っていなければ、主は指導者からはずされることになるでしょう。

そして指導者は主から任命されるのですから、その働きは尊いもので、光栄なものです。主に従うように、互いに従い合ひましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



35:1 エリコをのぞむヨルダン川のほとりのモアブの草原で、【主】はモーセに告げられた。

35:2 「イスラエルの子らに命じ、その所有となる相続地のうちから、居住のための町々をレビ人に与えよ。また、その町々の周りの放牧地はレビ人に与えなければならない。

35:3 その町々は彼らが住むためのものであり、その放牧地は彼らの家畜、群れ、そしてすべての動物のためのものである。

35:4 あなたがたがレビ人に与える町々の放牧地は、町の城壁から外側に向かって周囲一千キュビトである。

35:5 あなたがたは、町の外側に、町を真ん中として東側に二千キュビト、南側に二千キュビト、西側に二千キュビト、北側に二千キュビトを測れ。これが彼らの町々の放牧地となる。

35:6 レビ人に与える町々については、人を殺した者を逃れさせる六つの逃れの町がなければならない。また、このほかに、四十二の町を与えなければならない。

35:7 レビ人に与える町は、全部で四十八の町で、放牧地付きである。

35:8 あなたがたがイスラエルの子らの所有地のうちから与える町々は、大きい部族からは多く、小さい部族からは少なくしなければならない。それぞれ自分が受け継いだ相続地の大きさに応じて、自分の町々の一部をレビ人に与えなければならない。」

レビ人は、主のために生きる者の型です。主はその者たちに良くしてください。レビ人は主の働きからその取り分をもらうこと許されました。また

このように放牧地が与えられ、生活に困らないようにされたのです。しかし、彼らはまとまった領地が与えられたのではなく、全国に町が与えられたのです。それは彼らの働きがイスラエル全土に及ぶためです。

レビ人のようにフルタイムの働き人の生活に関しては、主のこのような御心が満たされるようにすべきです。またそれは全クリスチャンのことも意味しますから。私たちは主からこのように生活を守っていただけるものなのです。

主に必要を求めましょう。またまとまった土地や財産などが仮になくとも、安心して主の配慮に期待し求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

